

- 農業基本条例第21条(施策の実施状況の報告)に基づき、毎年度作成し、審議会の意見を聴取した上で、議会に報告するもの。
- 構成は、①特集(主要施策)、②本論(本県の農林水産業を取り巻く諸情勢、第4次農林水産業元気創造戦略に基づく施策の取組状況)。
- 令和3年度の特集(6項目)等は以下のとおり。

特集等

◎第4次農林水産業元気創造戦略(特集1)

- 農林水産業元気再生戦略の成果や、人口減少・高齢化等による担い手の減少等の構造的課題に加え、コロナ禍の生産・消費への影響等の今日的課題を踏まえ策定(令和3年3月)。
- 令和6年度までの実行計画として、分野ごとの5つの基本戦略と具体的な施策を推進する63のプロジェクトを設定し、取組みを展開。



◎県産米をめぐる状況と県の対応(特集4)

- 長引くコロナ禍による外食需要の低迷などにより全国的に在庫が膨らみ米価が大幅に下落。
- 全国知事会を通じた「市場隔離」や「米農家に対する給付金制度の創設」等の政府への提言を実施したほか、米の消費拡大運動、米農家への応援給付金の支給など、6月、9月、12月の3次にわたり補正予算を編成し、対策を実施。



◎水産業の成長産業化に向けた取組み(特集5)

- 山形県水産振興条例及び水産振興計画の策定(令和3年3月)を契機として、漁業者等の意欲的な取組みを支援するオーダーメイド型の補助制度を創設。
- 漁業就業希望者等を対象にしたオンラインセミナーの実施や、独立開始後3年目までの漁業者を対象とした経営安定化支援制度を新設。



◎春の降霜・降雹による被害状況及び対応(特集2)

- 降霜による農作物等の被害は約130億円、降雹による農作物等の被害は約7.2億円。
- 被害農家を対象に、県・市町村・JAなどが連携し、肥料や農薬の購入補助、運転資金の無利子融資及び保証料の無償化等により支援。
- 近年の降霜・大雨・豪雪による被害や担い手の高齢化により産地の維持が危ぶまれることから、抜本的な産地の再生・強靱化を図るため「果樹王国やまがた再生・強靱化協議会」を設置し、議論を開始(10月)。



おうとうの結実不良

◎やまがた森林(もり)ノミクス加速化ビジョンの策定と取組み(特集6)

- ビジョン(令和3年3月)では3つの将来像を掲げ、令和3～12年度の10年間の取組みを加速化。
- 良質な県産木材を安定的・継続的に供給する新たな仕組みづくりや、ICT導入等により木材生産及び森林経営の効率化・高度化、専門人材の育成等による環境へ配慮した森林資源の活用等を一層推進。



ICT導入の推進

◎東北農林専門職大学(仮称)設置に向けた取組み(特集3)

- 昨年度に引き続き基本計画の検討を進めるとともに、令和2年9月から開始した大学校舎の設計が完了(12月)。建築工事は令和4年度及び5年度の2か年で実施予定。
- 開学に向けて、中核となる学長、学部長及び学科長の予定者を内定し、専任教員の選考を開始。



校舎外観イメージ図

◎家畜防疫に関する取組み

- 12月に鶴岡市の養豚場において、豚熱の発生した宮城県から移入した豚が疑似患畜と確認された。「山形県豚熱対策本部対応マニュアル」による迅速な初動対応により、殺処分等の一連の防疫措置を完了。
- 適時適切な豚熱ワクチンの接種の推進や、飼養衛生管理基準の遵守を中心とした家畜伝染病発生予防を継続。



飼養豚へのワクチン接種